

今月のおすすめ図書

◆一般図書

ねこのうち



柳美里／著 河出書房新社

ひかり公園で生まれた六匹のねことその家族が奏でる“命”の物語がいま、幕をあける。生きることの哀しみときらめきに満ちた感動作！

日々のきのこ



高原 英理／著 河出書房新社

きのこにまつわる不思議なお話3篇。世界がきのこに浸食されていく。読み終えた時、もっときのこが好きになるか嫌いになるか。あなたはきのこが好きですか？

♥児童図書

鳥になった恐竜の図鑑



真鍋真・川上和人／監修 学研プラス

恐竜は完全に絶滅したわけではなく、その一部は鳥に姿を変えて現在も進化を続けている。恐竜と鳥類の関係を語る豊富な写真資料と精緻なイラストが満載の一冊。

きつねの窓



安房 直子／著 岩崎書店

若い猟師が狐の子に青く染めてもらった指で窓を作って覗くと、見たかったものが見えた。家に帰って手を洗うと見えなくなり…。切なくて幻想的なお話。

ぶらりらいぶらり

米子市立図書館からのお知らせ

米子市立図書館 (☎ 22-2612 FAX 22-2637)

開館時間 平日：午前9時～午後7時

土・日・祝日：午前10時～午後6時

今月の休館日 毎週月曜日、30日(月末資料整理)

特別資料整理休館日 10月2日(月)～11日(水)

POPコンテスト 2023 作品大募集！

あなたのお気に入りの本、みんなにおすすめしたい本のPOPを大募集します。優秀作品に選ばれた方には図書カードや図書館オリジナルグッズをプレゼント♪ たくさんのご応募をお待ちしています！

▶募集期間 9月1日(金)～10月1日(日)

▶募集部門 U-10部門／小学1年生～4年生

U-15部門／小学5年生～中学生

一般部門／高校生以上

よなぽん家族部門／未就学児とそのご家族

▶申込方法 持参または郵送(当日消印有効)

くわしくはチラシをご覧ください。



ポップ POPとは…

おすすめしたい本を紹介するカードです。

今月の催し (☆印は要事前予約)

「おはなし会」

▽木曜おはなし会(ほしのぎんか・火曜の会、図書館職員)

毎週木曜日 午前10時40分

▽おはなしかご(米子おはなしかご)

16日(土) 午前10時30分

▽夕方おはなし会(図書館職員)

12日(火) 午後4時

「各種講座」

▽つつじ読書会「その日暮らし」の人類学 もう一つの資本主義経済 小川さやか(光文社) (4～6章)

(初めてのの方☆)

2日(土) 午後2時

▽楽しく漢文に学ぶ会(初めてのの方☆)

3日(日) 午後1時30分

▽いきいき長寿音読教室 (☆)

12日(火) 午後3時

13日(水) 午前10時30分

(いずれも1日(金)予約受付開始)

※10月の開催はありません。

▽鳥取大学サイエンスアカデミー

9日(土) 午前10時30分

▽伯耆文化研究会「博労町遺跡の発掘成果―弓ヶ浜半島における人々の営み―」京嶋寛さん

9日(土) 午後1時30分

▽古文書研究会「多比能實知久佐」ほか

23日(土)・(日) 午後1時30分

▽「2階ギャラリー」

▽西部地区夏休み社会科自由研究作品展

14日(木)～28日(木)



米子水鳥公園の指導員(レンジャー)が
日々の活動をご紹介します!

米子水鳥公園 レンジャー通信

文・写真/米子水鳥公園統括指導員 桐原 佳介

8月までは園内で見られる鳥が少なく、野鳥ファンには寂しい時期でしたが、9月になると北から様々な渡り鳥が飛来するようになり、一気に野鳥観察が面白くなります。特に注目しているのは、日本を中継地としてさらに南へと渡っていくシギの仲間です。日替わりで様々なシギ種類が飛来する中で、特に多くの種類のシギが現れるピークの時期を、私たちは「秋のシギ祭り」と呼んでいます。

昨年は9月17日、18日、24日、28日に多くのシギが見られました。水鳥公園で秋に見られる主

秋のシギ祭り

なシギは、セイタカシギ、タシギ、ツルシギ、アオアシシギ、ソリハシシギ、ハマシギです。昨年はこれらに加えてオグロシギ、オオソリハシシギ、コアオアシシギ、アカアシシギ、クサシギ、エリマキシギ、タカブシギ、トウネン、ヒバリシギも確認できました。シギの仲間の多くは干潟に飛来するので、干潟がない山陰地方は、太平洋側と比べると観察できるシギの数は少ないです。しかし、さまざまな種類が飛来するので、この秋はどんなシギが飛来するのか、毎年楽しみです。

群れるさまざまなシギたち



体が大きくて存在感のあるオオソリハシシギ



美術館通信

コレクション企画展 I 写真

米子市美術館は昭和58年6月17日に開館し、今年で40周年を迎えます。これを記念し、コレクション企画展として4期に分けジャンルごとに40年にわたる作品収集のあゆみを振り返ります。その第1期として、写真の展示を行います。当館は写真において、特に豊富な作品を所蔵しています。主な作家として植田正治、岩宮武二、杵島隆らがコレクションに名を連ねています。

会期初日の9月10日には、島根県立美術館主任学芸員の蔦谷典子氏を招き、写真コレクションについての講演会を実施。40年の歴史に触れられるこの機会に、ぜひ当館のコレクションをご覧ください。

▶会期 9月10日(日)～10月9日(月・祝)

[水曜日休館]

▶観覧料 一般330円 団体(15人以上)270円

※大学生以下、70歳以上、障がいのある方(付添1人含む)は無料

☎ 米子市美術館 (☎ 34-2424)



岩宮武二《マヌカン(1)》1954年
ゼラチン・シルバー・プリント /Printed in 1992
米子市美術館蔵